



所沢市議会 議会評価報告書

平成30年6月

1 趣旨

所沢市議会は、平成21年3月の議会基本条例施行以後、さまざまな取り組みを実施してきた。

その中で、毎年度、市民の負託に応えられる議会の実現及び議会運営の活性化を図るとともに、説明責任を果たすため、所沢市議会が実施する事業及び議会改革について、基本条例に基づき所沢市議会議会評価を行ってきた。

平成25年4月1日からは、さらに実効性を高めるために所沢市議会議会評価の実施に関し必要な事項を定めた所沢市議会議会評価実施要綱を制定した。

本報告書は、議会運営委員長及び広聴広報委員長がそれぞれ下記の期間において所管した事業等について自己評価を行いその結果を取りまとめたもので、今後の取り組みに活かし、更なる改善を図っていくものとする。

2 評価対象期間

平成29年6月から平成30年5月までの期間

3 評価対象事業等

(1) ◆議会運営委員会所管

「議会評価について」

「平成29年度議会運営委員会視察」

「議会ICT化の推進」

「議会改革に関する視察受け入れ」

◆広聴広報委員会所管

「市議会だより作成・配付」

「政策討論会の開催」

「議場コンサートの開催」

(2) 所沢市議会基本条例に規定する項目に対する評価（達成度及び方向性）

4 評価結果

別紙のとおり

議会事業評価表

事業名	平成29年度 議会運営委員会視察
【概要】 1 視察期間 平成29年10月18日（火）～10月20日（木） 2 視察先及び視察事項 <ul style="list-style-type: none">● 徳島県小松島市議会「通年会期制、i-Padの運用、予算決算常任委員会について」● 大阪府枚方市議会「通年会期制について」● 兵庫県姫路市議会「姫路市リスク管理基本方針（内部統制）について」 3 参加議員 青木利幸委員長、石本亮三副委員長、矢作いづみ委員、荒川広委員、粕谷不二夫委員、大石健一委員、赤川洋二委員、亀山恭子委員、入沢豊委員、西沢一郎委員、桑畠健也委員、中村太委員、杉田忠彦議長、松本明信副議長 4 視察概要 内容については別途議会ホームページに公開している「視察報告書」のとおり。 http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/shigikai/tokubetuiinkaijyuhou/sisatugaibo/giun.files/29.10.18_20giun.pdf	
【評価】 議会運営委員会の協議事項として、本市議会の議会運営に資する先進的事例、参考事例の視察を毎年積極的に行っている。今年度は、通年会期制、議会における内部統制及び予算決算常任委員会などの導入の経緯や成果などの説明を丁寧に受けるとともに質疑応答を実施した。視察先の議員等と意見交換が効果的にでき、とても刺激を受けた。この視察を踏まえ協議を行い、この3項目については平成29年度においては結論には至らなかったが、今後についても、継続的に視察を実施し、先進的事例、参考事例の研究を行うことが必要と考える。	
委員長名	議会運営委員長 青木利幸

評価日：平成30年 6月 4日

議会事業評価表

事業名	議会評価について
<p>【概要】</p> <p>1 背景</p> <p>議会改革の一つの議会評価について、平成28年度に引き続き、政策研究審議会に対して次のとおり、諮問を行い、それに対する答申を受け、以後の参考とした。</p> <p>① 諮問事項</p> <p>議会評価報告書（平成29年6月評価及び平成28年6月評価）について</p> <p>② 答申について</p> <p>議会が実施する事業の評価及び所沢市議会基本条例に規定する項目の達成度や方向性について毎年度評価しており、全国的な取り組みであり、今後も継続し、更なる議会の活性化につなげていただきたい。なお、評価表の様式については、情報量とそのバランス、効果の測定として事業の受け手側の視点を入れること、わかりやすい言葉で説明し、市民の目線に沿った形で評価を行うことなどの改善ポイントが示された。</p> <p>2 今後の対応</p> <p>今回の答申を受け、市民の目線に沿ったものとなるよう様式を改正するとともに、事業のアンケート等の実施など事業の受け手側の視点を入れた評価について研究することとする。</p> <p>【評価】</p> <p>議会改革としての議会評価については、より市民にわかりやすい議会となるよう積極的に進めていくこととしたい。</p>	
委員長名	議会運営委員長 青木利幸

評価日：平成30年 6月 4日

議会事業評価表

事業名	議会ICT化の推進
<p>【概要】</p> <p>1 背景</p> <p>平成28年2月に「所沢市議会ICT化推進基本計画」を策定し、3月定例会において可決された「市民にとってわかりやすい議会運営に資するため『所沢市議会ICT化推進基本計画』を実施する決議」に基づき、議会のICT化を進めるものである。</p> <p>2 推進の取り組み</p> <p>今年1月より議員へ配付すべき書類及び資料等について、データ配信を開始した。副次的な効果として、ペーパーレス化及び事務局職員の事務負担の軽減が図れている。</p> <p>また、昨年12月定例会の一般質問及び3月定例会の質疑及び一般質問において、補足説明の資料としてタブレットの静止画を議場内のモニターに映すことにより、タブレットの活用を図った。</p> <p>【評価】</p> <p>推進の取り組みを始めたところだが、各議員のITスキルの差が見受けられることから、作業部会を中心に議会全体としてのスキルアップを行うとともに、所沢市ICT化基本計画に則り、文書管理などの具体的な運用方法について調査研究を行い、ICT化の推進を図ることとする。また、無線LANやパソコンの購入など予算化できたが、まだまだの段階であることから、引き続きICT化推進に向けて環境整備に係る予算要求を行うこととしたい。</p>	
委員長名	議会運営委員長 青木利幸

評価日：平成30年 6月 4日

議会事業評価表

事業名	議会改革に関する視察受け入れ		
【概要】			
1 背景と経過			
<p>本市議会は、平成21年3月に議会基本条例を制定し、毎年議会改革に取り組んできた。こうした本市議会における議会改革や議会運営の取り組みに対し、他市町村議会から多くの視察の申し入れがあり、本市議会としても情報共有により、より広い視点から課題を捉え直す機会と受け止め、継続的に数多くの視察の受け入れを行っている。なお、今評価期間の議会に関する視察の受け入れに当たっては、議会運営委員会の委員のほか、広聴広報委員会の委員などが対応した。</p>			
2 概要			
年度	視察受入件数	受入人数	対応議員延人数
平成25年度	36件	375人	76人
平成26年度	30件	323人	78人
平成27年度	22件	212人	52人
平成28年度	28件	314人	58人
平成29年度	25件	245人	68人
【評価】			
<p>視察の受け入れでは、対応する議員の人数を増やし議会改革や議会運営の評価方法、政策形成サイクル、議会ICT化など本市議会における議会改革の取り組みについて丁寧に説明してきた。また、他市町村議員との意見交換を行うことにより、情報共有を図ることもできた。今後においても、事務局の負担を考慮しつつ、本市議会での取り組みを周知するために視察受け入れを進めていきたい。</p>			
委員長名	議会運営委員長 青木利幸		

評価日：平成30年 6月 4日

議会事業評価表

事業名	市議会だより作成・配布
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会の活動を多くの市民に対してわかりやすくお知らせするため、各定例会後に発行する議会広報紙であり、昭和45年11月に第1号のB5判「市議会ところざわ」を発行した。その後、昭和59年5月発行の第50号からタブロイド判の「ところざわ市議会だより」となり、平成8年5月発行の第98号からA4判となり現在に至る。</p> <p>2 内容</p> <p>紙面構成については、定例会での議案審議、トピックス（議会からのお知らせ）、市政に対する一般質問、閉会中の議会活動の各コーナーを基本とし、また表紙・裏表紙では、市にゆかりがあり、各方面で活躍している人を写真やインタビュー記事などで紹介している。なお掲載内容については、所管である広聴広報委員会にて随時協議を行い決定している。</p> <p>市議会だよりは定例会ごとに129,400部作成し、新聞折込等で配布するとともに、市議会HPでPDF版を公開している。また多くの方に手に取っていただくため、市の関係機関のほか所沢駅構内や、所沢市医師会に加入している市内医療機関（約180カ所）への配架を行っている。さらにアプリ「マチイロ」への掲載、SNS（ツイッター、フェイスブック）での発行のお知らせを行っている。</p> <p>なお平成29年度では、それまで12ページ、16ページで各2回ずつ作成していたページ数について、年間を通じて16ページとなったことにより、特集記事を組むなど紙面の充実を図ることができた。</p> <p>市議会HP上のコンテンツ「市議会だより」アクセス件数は毎年増加している。（平成27年度 18,669件 平成28年度 20,118件 平成29年度 24,849件）</p> <p>【評価】</p> <p>今後も市民に読まれ、親しまれ、役に立つ広報紙を目指し、紙面の充実に向けていく。市民や広聴広報委員会から要望の出ている全戸配布などについても、引き続き検討したい。</p> <p>（経費）平成29年度 印刷製本費：11,627,364円、新聞折込手数料：4,633,804円 通信運搬費：24,840円、合計：16,286,008円</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

議会事業評価表

事業名	政策討論会の開催
<p>【概要】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第14条 所沢市議会政策討論会実施要綱</p> <p>1 背景と経過</p> <p>市長等から提出された議案に限らず、特定のテーマについて、各議員が活発に意見等の交換を行い、共通認識を醸成するため、平成24年度から毎年開催している。</p> <p>平成26年に所沢市議会政策討論会実施要綱を策定したことから常任委員会でも政策討論会の開催ができるようになり、平成27年度、平成28年度はそれぞれ常任委員会により開催した。平成29年度においては、超党派の議員6人により開催した。</p> <p>2 内容</p> <p>平成30年2月10日に開催した政策討論会は、「学校施設の整備（エアコンなど）について」をテーマに開催し、参加者は56人であった。</p> <p>小中学校のエアコン問題について時系列に沿った振り返りを行った後、コメンテーターに法政大学法学部教授 廣瀬克哉氏を迎えて『二代表制の「設計思想」・学校施設という課題』について基調講演を行った。</p> <p>その後、テーマに沿って、これまでのエアコン問題や校舎木質化など学校設備の考え方について討論会を行い、最後に参加者からエアコン設置に関する学校間の公平性や校庭の有効活用についての意見をいただいた。</p> <p>【評価】</p> <p>政策立案や提言など、政策形成につなげていくことを目的に、引き続き開催していきたい。</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大舘 隆行

評価日：平成30年 6月 4日

議会事業評価表

事業名	議場コンサートの開催
<p data-bbox="183 387 343 421">【概要】</p> <p data-bbox="196 436 775 470">根拠例規：所沢市議会基本条例第22条</p> <p data-bbox="172 539 391 573">1 背景と経過</p> <p data-bbox="196 589 1430 678">議場コンサートについては、平成27年12月に市議会65周年記念とし開催したことをきっかけに、平成28年、平成29年もそれぞれ開催し、好評であった。</p> <p data-bbox="196 692 1430 781">なおコンサートの様子は、インターネットでライブ中継したほか、市庁舎1階ロビーおよび8階大会議室前に設置したモニターで放映した。</p> <p data-bbox="172 844 295 878">2 内容</p> <p data-bbox="196 896 1430 985">平成29年12月定例会に先立ち開催した議場コンサートでは女性ヴァイオリニスト等によりヴァイオリンとピアノの演奏を行った。</p> <p data-bbox="183 1048 343 1081">【評価】</p> <p data-bbox="196 1099 1430 1238">議会をより身近に感じてもらうための議場を活用した事業の一つであり、概ね好評であった。また市内で活躍する音楽家や学生への演奏の場の提供といった視点も含め、今後も開催していきたい。</p>	
委員長名	広聴広報委員長 大館 隆行

議会改革評価表 (平成 29 年 6 月～平成 30 年 5 月)

1 所沢市議会基本条例に規定する項目の評価

No.	項目	議会基本条例該当条文	進捗状況又は実績	評価		備考
				達成度	方向性	
1	目的	第 1 条				
2	議会の役割	第 2 条				
3	議会の活動原則 (公正性・透明性・信頼性) (情報公開・説明責任)	第 3 条	議会事業評価の公表	○	継続	
			説明責任	○	継続	
			市民にとってわかりやすい議会運営	○	継続	モニタを活用した資料説明(平成 29 年 12 月一般質問、平成 30 年 3 月質疑及び一般質問)
4	議員の活動原則	第 4 条				
5	会派	第 5 条				
6	市民参加及び市民との連携	第 6 条	会議の原則公開	○	継続	非公開・秘密会なし
			公聴会	—	継続	本評価期間中対象案件なし
			参考人制度	○	継続	議案審査において(平成 30 年 3 月予算特別委員会)、請願審査において(平成 29 年 6 月健康福祉常任委員会)参考人招致
7	議会報告会	第 7 条	4 回開催 (11 月・5 月 各 2 回)	○	継続	広聴広報委員会所管
8	意見提案手続	第 8 条		—	継続	本評価期間中対象案件なし
9	議員と市長等 執行機関の関係	第 9 条	質疑及び一般質問	○	継続	平成 30 年 3 月定例会で前年に引き続き実施
10	議決事件の追加等	第 10 条				
11	閉会中の文書による質問	第 11 条				
12	議会審議における論点情報の形成	第 12 条		○	継続	
13	議員間の自由討議	第 13 条		○	継続	議会運営委員会・広聴広報委員会・市民文教常任委員会
14	政策討論会	第 14 条	テーマ「学校施設の整備(エアコンなど)について」	○	継続	平成 30 年 2 月 10 日実施 参加者 56 名
15	委員会の運営等	第 15 条	政策提言	○	継続	平成 29 年 12 月健康福祉常任委員会、平成 30 年 2 月総務経済常任委員会
			正副委員長連絡協議会	○	継続	各定例会で合計 8 回実施
16	議会運営委員会	第 16 条	平成 30 年 3 月定例会	○	継続	質疑及び一般質問、予算特別委員会の設置
17	政務活動費	第 17 条	ホームページ上の公開	○	継続	平成 26 年 5 月から公開
18	議員研修の充実強化	第 18 条	議員研修の実施	○	継続	「集約型都市構造に関する議員研修会」
19	議会事務局の機能強化	第 19 条	14 人(平成 30 年 4 月 1 日)	○	継続	所沢市職員定数条例の定めによる事務局職員定数 14 人
20	予算の確保	第 20 条		○	継続	ICT 推進
21	議会図書室	第 21 条	図書の充実	○	拡充	広聴広報委員会所管
22	議会広聴広報の充実	第 22 条	広報紙・HP 等による公表の充実	○	拡充	

23	専門的識見の活用	第23条	専門的識見の活用	○	継続	公共施設の総合管理に係る調査
24	附属機関の設置	第24条	政策研究審議会	○	継続	平成29年10月、平成30年1月
25	議員の政治倫理	第25条	政治倫理条例等の遵守	○	継続	
26	議員定数	第26条	平成27年4月の一般選挙における定数は33人	○	継続	
27	議員報酬	第27条				
28	災害時における議会の活動	第28条				
29	他の自治体の議会との交流及び連携	第29条		○	継続	視察受入25件
30	議会評価	第30条		○	継続	平成29年6月2日
31	見直し手続	第31条				

2 議会改革の取組状況

開催議会	進捗状況及び実施事業	項目	該当条文
平成29年6月定例会	健康福祉常任委員会請願審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第6条
平成29年9月定例会	公共施設の総合管理に係る調査の実施(10/2)	専門的知見の活用	第23条
閉会中	通年議会の概要について、徳島県小松島市(10/18)、大阪府枚方市(10/19)内部統制について、兵庫県姫路市(10/20)	議会運営委員会	第16条
	市民文教常任委員会による自由討議(10/26)	議員間の自由討議	第13条
	政策研究審議会開催(10/31)3件を諮問	附属機関の設置	第24条
	公共施設の総合管理に係る調査の中間報告(11/15)	専門的知見の活用	第23条
	議会報告会開催(11/15、18)	議会報告会	第7条
平成29年12月定例会	議場コンサートの実施(12/1開会前)	議会広聴広報の充実	第22条
	健康福祉常任委員会による提言	委員会の運営等	第15条
閉会中	政策研究審議会開催(1/29)諮問に係る答申、議員との意見交換	附属機関の設置	第24条
	集約型都市構造に関する議員研修会開催(2/1)	議員研修の充実強化	第18条
	広聴広報委員会による政策討論会開催(2/10)	政策討論会	第14条
	総務経済常任委員会による提言(2/13)	委員会の運営等	第15条
平成30年3月定例会	予算特別委員会を設置(新年度予算案件10件を審査)	委員会の運営等	第15条
	予算特別委員会議案審査における参考人招致(文書回答)	市民参加及び市民との連携	第6条
閉会中	議会報告会開催(5/19、23)	議会報告会	第7条

3 議会の活動状況

項目	29年度		28年度		比較
議員提出議案	11	件	9	件	2
付帯決議	0	件	3	件	△3
修正可決	0	件	1	件	△1
委員会提出議案	0	件	2	件	△2

委員会提言			2	件	5	件	△3
6月定例会	傍聴者数	本会議	145	人	181	人	△36
		委員会	20	人	22	人	△2
7月臨時会	傍聴者数	本会議		人	7	人	
		委員会		人	5	人	
9月定例会	傍聴者数	本会議	131	人	204	人	△73
		委員会	20	人	21	人	△1
12月定例会	傍聴者数	本会議	116	人	161	人	△45
		委員会	24	人	17	人	7
2月臨時会	傍聴者数	本会議	6	人		人	
		委員会		人		人	
3月定例会	傍聴者数	本会議	120	人	226	人	△106
		委員会	52	人	69	人	△17